

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」^{ほうそうげんこう} 放送原稿（8月29日（金）放送分）

テーマ 新着図書紹介

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様、おはようございます。^{かごしまけんりつあま}鹿児島県立奄
^{みとしよかん}美図書館です。

今朝は、^{あまみとしよかん}奄美図書館の新着図書について御案内します。

まずは、一般書の御案内です。

1冊めは、『対岸の彼女』で直木賞を受賞し、『^{ようかめせみ}八日目の蟬』や『紙の月』などの著者
で^{かくたみつよ}角田光代さんの『平凡』です。誰でも人生の中で、「あのときこうしていればもっと違
う人生になっていたかもしれない。」と一度は考えたことがあると思います。この作品は、
異なる6つの話で構成されており、それぞれ結婚や仕事などの人生の選択、または、日常
生活の何気ない選択を振り返り、あり得たかもしれない「今」に思いを募らせています。

例えば、家で猫を飼っていた主人公が、来客があった際に、網戸をせずに窓を開けたま
まにしている、かわいがっていた猫が、そのまま驚いて飛び出していなくなってしまい後
悔する話などです。きっと思い当たる話があるかもしれません。

2冊めは、^{こぼやくにゆき}小林邦之さんの『いや！というほど体がかたい人のためのらくらくストレ
ッチ体操』です。体がかたいと、思うように動けないので、怪我をしやすかったり、肩こ
りや冷え性、疲れがとれにくいなど様々な不調を引き起こします。また、どのようなスポ
ーツでも筋力をつけると同時に柔軟性も大事です。ここでは、パーソナルトレーナーでも
ある著者が、誰でも手軽にできる部位別、不調別のストレッチとエクササイズを紹介して
います。また体が柔らかくなる生活習慣についてもいくつか取り上げています。これから、
運動会などスポーツをする機会も増えるので、ぜひ、みなさんも取り組んでみてはいかが
でしょうか。

次は、児童書をご案内しましょう。

1冊めは、NPO法人桜島ミュージアム製作の『桜島！まるごと絵本』です。鹿児島の
シンボルでもある桜島。第1章は、「ぼくたちはなんで桜島に住んでるんだろう？」とい
う、一人の少年の問いから始まる、桜島に生きる家族の物語です。第2章は、桜島の成り
立ちや大正噴火、火山の恵みや防災について、また、2013年に日本ジオパークに認定
された「桜島・錦江湾ジオパーク」について、わかりやすく解説してあります。

大正の大噴火から100年たった今でも桜島は毎日のように噴火しています。雄大な火

山の恵みとそこに暮らす人々の元気が詰まった本です。

2冊めは、三浦しをんさん原作で山岡みねさんの『かむさりやまのおまじない』です。
ある日、かむさりむらに住んでいる男の子の「さんた」が、庭に座布団を干していると、うさぎがぴょんぴょん踊りながらやってきて、「ふかふか座布団、ちょっと座ってええかいなあ」と言いながら、くるんとまわると女の子になりました。その女の子の「あかさん」が、おまじないを唱えると、さんたたちをのせた座布団は空高くビューンと飛んで、あっという間にかむさりやまの山奥にやってきました。山には不思議がいっぱいです。神様の「しろさん」や動物たちも出てきてみんなで遊びます。『神去なあなあ日常』からうまれた色彩豊かな絵本で、親子で楽しめる作品です。ぜひ、読んでみてください。

最後は郷土に関する本のご案内です。

武下^{たけした かずひら}和平さんの話を清^{きよ}真^ま人^{ひと}さんが聞き手としてまとめた『唄者^{うたしや} 武下和平のシマ唄語り』です。この本は、南島^{なんとう}叢書^{そうしょ}の奄美文化遺産の第三弾として刊行されました。武下和平さんは、戦後の奄美大島で「百年に一人の唄者」と呼ばれてきた奄美大島民謡の唄い手です。第1部では、「誌上シマ唄入門教室」として、5曲が紹介されており、シマ唄の基礎知識も書かれています。第2部では、婚礼や誕生などの祝い唄や教訓唄、シマ誉め唄。第3部は、武下さんの回想録となっています。また、本で紹介されている唄が付属のCDでも聞くことができます。この機会に島唄を見直してみたいはいかがでしょうか。

まだまだ暑い日が続きますが、どうぞ図書館でゆっくり読書をお楽しみください。

それではまた来週、鹿兒島^{かごしま}県立奄美^{けんりつあまみ}図書館^{としよかん}でした。